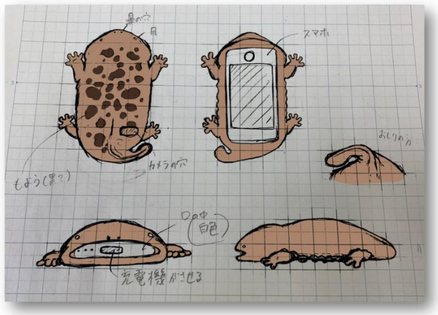
はざこをもっと親しみやすく！はざこのスマホケース　　芸術

きっかけ

　郡上に住むオオサンショウウオのことを地元の人や、観光客の人にもっと知ってもらい、親しみやすくしたい。また、自分で雑貨をデザインし、作ってみたいと考えていたからである。

研究概要



①アイデア出し
②試作品製作
③外部との交流

研究内容

①アイデア出し
　郡上にちなんだイヤリングと、はざこのスマホケースの二つの案が出た。
→イヤリングはマスクに引っ掛かり、スマホケースはより日常的に使う為、はざこのスマホケースに決定した。
②試作品製作
１．軽量粘土で作る→完成のイメージを持てた。
２．型取り→石膏粘土でモデルを作り石膏で型を取った
３．シリコンで作る
　(1)シリコン＋黒の絵の具＋茶色の絵の具
　→色の赤みが強かった。カメラの穴が綺麗に模れなかった。
　(2)透明シリコン＋黒＋茶色＋青＋コーンスターチ
　→絵の具が混ざりきっていなかった。ひび割れが多く見られた。
　　コーンスターチで白っぽくなった。
　(3)透明シリコン
　→数日置いても固まらなかった。
　(4)透明シリコン＋黒＋茶色＋青
　→はざこに近い色になった。最初のものより柔らかくなった。
　　所々穴が開いた。
　(3)と(4)は透明シリコンで穴を埋め、上から絵の具で塗った。
　→ひび割れ多く見られ、絵の具が剥がれ落ちた。
③外部との交流
町家オイデナーレに展示させていただいた。

まとめ

　よりはざこに近付けるようにこだわれた。もっとこだわり柔らかくリアルなものを作りたい。また、商品化に向けても取り組んでいきたい。

３１番　松本　未来